

ひとりひとり

僕が撮った
精神科病棟

大西暢夫



写真が伝える精神科病棟の患者さんの生活・特技・ユーモア、そして願い。
かけがえのないひとりひとりの人とカメラマンとの豊かな出会いが広がる。

開催
日時

2009年2月15日 日

開演13:00～終演15:50

会場

那須塩原市黒磯文化会館 小ホール

栃木県那須塩原市上厚崎490 TEL.0287-63-3219

チケット

500円

※数に限りがございますので、事前にお買い求め下さい。小学生以下無料。



講演者

おにし のぶ お

大西 暢夫さん

フリーカメラマン。

著書に「おばあちゃんは木になった」
(ポプラ社／第8回日本絵本賞受賞)、
「僕の村の宝物」(情報センター出版局)、
「ひとりひとりの人」(精神看護出版)などがある。

手話通訳有り

無料託児有り(要予約)

チケット販売
お問い合わせ

・特定非営利活動法人那須フロンティア TEL. 0287-63-7777 FAX. 0287-73-7022 E-mail. frontier@io.ocn.ne.jp URL. http://www.nasu-f.com
・那須塩原市社会福祉課 TEL. 0287-62-7135

主催／特定非営利活動法人那須フロンティア 共催／那須塩原市

後援／栃木県北健康福祉センター、大田原市、那須町、那須塩原市社会福祉協議会、大田原市社会福祉協議会、那須町社会福祉協議会、NPO法人ゆいの里、NPO法人キッズシェルター

ひとりひとりの人

僕が撮った 精神科病棟

僕はそれまで精神障害についての知識はまったくありませんでした。むしろ偏見をもっていたほうかもしれません。だから病院内は僕にとって新鮮なものに映りました。患者さんたちとの壁はあんがい薄く、彼らがすんなり人と話すことができる気安さにまず驚きました。この人たちは病院に来る前は何をしていたのだろうか。僕の興味は病気の状態でも精神病院のあり方でもなく、目の前にいる“人たち”でした。100人いたら100通り。だから普通ってどこに一線をおいていいのかわからないのです。どんな理屈を述べるよりもこの写真に写っている患者さんたちの顔を見てください。おもしろく写っているものは笑ってください。それでいいと僕は思っています。みんなひとりひとりいい顔をもっていますから。それを隠すことはだれにもできません。

大西 暢夫

(ひとりひとりの人～僕が撮った精神科病棟～あとがきより抜粋)

当日のプログラム

13:00～13:10	開会挨拶	NPO法人那須フロンティア理事長 荻原 喜茂氏 那須塩原市長
13:10～14:00	第一部 講演	「ひとりひとりの人～僕が撮った精神科病棟～」 講師:大西 暢夫さん
14:00～14:20	休憩	
14:20～15:45	第二部 意見交換	出演者:医療・福祉関係者
15:45～15:50	閉会挨拶	NPO法人那須フロンティア理事長 荻原 喜茂氏



おにし のぶ お
講演者：大西 暢夫さん

1968年東京に生まれ岐阜で育つ。東京総合写真専門学校卒業後、写真家本橋成一氏に師事。その後、フリーカメラマンとして、全国のダムに沈む村で暮らす人々を撮影し続けている。2001年より「精神科看護」のグラビア撮影を始める。2003年、「おばあちゃんは木になった」(ポプラ社)で第8回日本絵本賞受賞。写真集に「分校の子供たち」(カタログハウス)、共著に「山里にダムがくる」(山と溪谷社)がある。

〈運営主体〉

特定非営利活動法人那須フロンティア
栃木県那須塩原市宮町2-14

TEL 0287-63-7777 (日・月休み)

FAX 0287-73-7022

E-mail frontier@io.ocn.ne.jp

URL http://www.nasu-f.com